



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 テクノメディカ  
コード番号 6678 URL <http://www.TechnoMedica.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 實吉 繁幸

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理部長 (氏名) 村元 和夫

TEL 045-948-1961

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	5,059	8.7	1,028	52.5	1,030	52.2	616	42.2
23年3月期第3四半期	4,652	3.7	674	△4.8	677	△4.8	433	△0.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	21,124.50	—
23年3月期第3四半期	14,854.97	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	10,206		8,613		84.4	
23年3月期	10,616		8,218		77.4	

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 8,613百万円 23年3月期 8,218百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	7,600.00	7,600.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	7,600.00	7,600.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,225	8.8	1,644	13.3	1,647	13.2	978	4.8	33,504.04

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	29,200 株	23年3月期	29,200 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	— 株	23年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	29,200 株	23年3月期3Q	29,200 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第3四半期累計期間 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) セグメント情報等 .....	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期における我が国経済は、東日本大震災の影響から持ち直しの動きが見られるようになりましたが、欧州の金融システムの不安定化など、不透明感が続く中で推移いたしました。

国内医療業界においては、政府の医療費抑制政策などにより医療機関の経営環境は厳しい状況にあり、医療機器に対する設備投資は、横ばいで推移するものと思われます。また、このところの為替相場における円高基調が海外メーカーとの競争において影響を及ぼす恐れがあります。

このような経営環境の中で、当社では本年度の予算計画を達成すべく営業活動を展開してまいりました。

その結果、当第3四半期累計期間の売上高は5,059,255千円(前年同期比8.7%増加)となりました。当第3四半期は国内市場において高機能新製品の価格浸透が順調に進み、売上高に寄与いたしました。一方、海外市場では、円高等の影響から当初の見込みを下回ったものの、当第3四半期累計期間の総売上高に対する海外売上高の占める割合は、前年同累計期間比0.8ポイント増加し11.8%となりました。

利益面に関しては、売上高総利益は2,610,688千円(前年同期比14.2%増加)、研究開発費が前年に比べ、第4四半期に集中する予定となったことから販売費及び一般管理費が1,581,784千円(前年同期比1.8%減少)となり、営業利益は1,028,904千円(前年同期比52.5%増加)、経常利益は1,030,659千円(前年同期比52.2%増加)、四半期純利益は616,835千円(前年同期比42.2%増加)となりました。

なお、当社は医療機器及び、これら装置で使用する消耗品の製造、販売を主たる事業とする単一セグメントであります。事業の傾向を示すため品目別に業績を記載いたします。

#### <品目別の販売状況>

##### ・採血管準備装置

当第3四半期における採血管準備装置の売上高は1,986,923千円(前年同期比18.8%増加)となりました。

第3四半期は国内市場で、当第2四半期に市場投入した新型採血管準備装置BC-ROBO・8000RFIDが売上に寄与し、同市場における売上高は1,641,337千円(前年同期比17.3%増加)となりました。

海外市場においては、アジアにおいて第1四半期から販売が堅調であったことから、売上高は345,586千円(前年同期比26.5%増加)となりました。

##### ・検体検査装置

当第3四半期における検体検査装置の売上高は417,571千円(前年同期比8.9%増加)となりました。

競合海外メーカーとの競争が続く国内市場の売上高は327,554千円(前年同期比13.4%増加)となりました。

海外市場においては、中南米で販売が好調であったものの、アジアでの販売が低調に推移したため売上高は90,016千円(前年同期比4.7%減少)となりました。

##### ・消耗品等

当第3四半期における消耗品等の売上高は2,553,343千円(前年同期比4.9%増加)となりました。

国内市場における消耗品等の売上高は、装置販売が順調に拡大したこと及び装置の累計納入台数の増加に伴い2,391,633千円(前年同期比4.5%増加)となりました。

海外市場における消耗品等の売上高は、検体検査装置等の累計販売数の増加などにより順調に増加しており、161,710千円(前年同期比11.9%増加)となりました。

##### ・その他

当第3四半期においては、前年同期にシステム関連の大型案件があった反動からその他の売上高は101,417千円(前年同期比37.9%減少)となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産の残高は10,206,462千円となり、前事業年度末比409,936千円減少しました。これは主に、売掛金の回収が順調に進んだこと等により現金及び預金が101,339千円増加、売上債権が369,800千円減少したことによるものであります。

当第3四半期末の負債の残高は1,592,552千円となり、前事業年度末比804,851千円減少しました。これは主に、平成23年3月期第4四半期において販売をおこなった製品仕入に係る支払が滞りなく進んだことにより仕入債務が424,093千円減少、法人税等の納付により未払法人税等が269,223千円減少したことによるものであります。

当第3四半期末の純資産の残高は8,613,910千円となり、前事業年度末比394,915千円増加しました。これは繰越

利益剰余金が105,084千円減少、別途積立金が500,000千円増加したことによるものであります。なお、自己資本比率は84.4%となり、前事業年度末比7.0ポイント上昇しました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年5月13日付の平成23年3月期決算短信で発表した平成24年3月期通期の業績予想に変更はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,153,569	4,254,908
受取手形	602,434	758,383
売掛金	2,963,665	2,437,916
商品及び製品	933,715	1,008,435
仕掛品	236,432	54,276
原材料及び貯蔵品	77,238	76,122
前払費用	8,321	9,462
繰延税金資産	102,991	26,657
その他	989	1,047
貸倒引当金	△68,400	△8,511
流動資産合計	9,010,957	8,618,698
固定資産		
有形固定資産		
建物	852,411	852,411
減価償却累計額	△355,181	△377,268
建物(純額)	497,229	475,142
構築物	4,077	4,077
減価償却累計額	△2,726	△2,856
構築物(純額)	1,351	1,221
工具、器具及び備品	53,166	53,497
減価償却累計額	△38,648	△44,152
工具、器具及び備品(純額)	14,518	9,345
土地	787,326	787,326
有形固定資産合計	1,300,426	1,273,035
無形固定資産		
特許権	4,050	3,542
商標権	1,466	1,316
ソフトウェア	1,619	933
電話加入権	1,177	1,177
無形固定資産合計	8,313	6,970
投資その他の資産		
出資金	7,510	7,510
破産更生債権等	38,155	38,155
繰延税金資産	145,901	151,966
保険積立金	96,645	100,778
差入保証金	31,379	29,997
長期未収入金	—	68,400
貸倒引当金	△22,892	△89,049
投資その他の資産合計	296,700	307,757
固定資産合計	1,605,441	1,587,763
資産合計	10,616,398	10,206,462

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,115,325	691,232
短期借入金	100,000	100,000
未払金	283,136	98,783
未払法人税等	381,824	112,601
未払消費税等	15,093	29,445
未払費用	45,391	49,506
預り金	7,465	129,362
賞与引当金	94,000	36,000
その他	2,433	2,142
流動負債合計	2,044,671	1,249,074
固定負債		
役員退職慰労引当金	195,205	205,930
製品保証引当金	148,542	128,496
受入保証金	8,984	9,050
固定負債合計	352,732	343,477
負債合計	2,397,403	1,592,552
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,069,800	1,069,800
資本剰余金	967,926	967,926
利益剰余金	6,181,268	6,576,184
株主資本合計	8,218,994	8,613,910
純資産合計	8,218,994	8,613,910
負債純資産合計	10,616,398	10,206,462

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	4,652,680	5,059,255
売上原価	2,367,156	2,448,567
売上総利益	2,285,523	2,610,688
販売費及び一般管理費	1,610,800	1,581,784
営業利益	674,723	1,028,904
営業外収益		
受取利息	2,749	1,133
その他	886	1,788
営業外収益合計	3,635	2,921
営業外費用		
支払利息	1,147	1,166
営業外費用合計	1,147	1,166
経常利益	677,211	1,030,659
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,120	—
固定資産除却損	57	—
特別損失合計	2,177	—
税引前四半期純利益	675,034	1,030,659
法人税、住民税及び事業税	222,481	343,554
法人税等調整額	18,788	70,269
法人税等合計	241,269	413,823
四半期純利益	433,764	616,835



(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社は、医療機器、及びこれら装置で使用する消耗品の製造販売を主たる事業とする単一セグメントであるため、セグメント情報は作成していません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。